

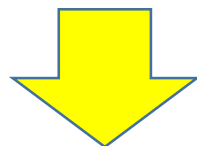
# 長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成30年度進捗状況 (概要版)

R元.7.24 総合計画審議会

# 1 趣 旨

## ○ 進捗状況の確認

数値目標と重要業績評価指標(KPI)を客観的に把握・検証



現状を検証・改善

取組方針を確認、今後の指針とする



- 計画最終年度として目標達成に向けた取組を加速
- 計画期間延長の見直しの指針として活用

## 2-1 数値目標とKPIの中間評価について

### 評価方法

平成30年度末時点での実績値が計画期間4年目の数値として、どの段階まで到達しているかを4段階で評価し、進捗の度合を判断

評価	評価内容
S	令和元年度の目標値を達成 ※1
A	目標達成に向けおおむね順調 ※2
B	Aには達しないものの、基準値より上昇
C	基準値と同値、または基準値から後退
未確定	平成30年度末の実績値が確定しておらず、判定不可

※1 累計ではなく単年度の実績値を指標としているものは、Aと評価（中間年として目標値を超えていても、来年度以降の実績値が変わる可能性があるため）

※2 基準値から目標値への差の7割を超えるもの

### 令和元年度末の目標達成に向けて進捗が順調（S及びA）な項目

数値目標 50.0%

（評価の確定している4項目中）

KPI 54.9%

（評価の確定している62項目中）

## 2-2 数値目標の進捗状況

基本目標	指 標	目標値	平成30実績	進捗評価
＜目標1＞ しごとの創出と確保	雇用創出人数(5年間累計) 【基準】平成25～26:平均50人/年	300人	未確定	未確定
	新規就農者数(5年間累計) 【基準】平成23～26:平均27人/年	150人	155人	S
＜目標2＞ 移住・定住・交流の促進	年齢階級15～34歳の社会増減 【基準】平成26:転出超過351人	移動均衡	転出超過 376人	C
	観光入込客数 【基準】平成26:986万人/年	1,030万人/年	未確定	未確定
＜目標3＞ 少子化対策・子育て支援	合計特殊出生率 【基準】平成26:1.55	1.54以上	未確定	未確定
	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合 【基準】平成26:小学校 86.3%、中学校 71.2%	現状値以上 (小学校86.3%) (中学校71.2%)	小学校 83.7% 中学校 71.1%	C
＜目標4＞ 住みやすい地域づくり	長野市を住みやすいまちと感じる市民の割合 【基準】平成26:78.1%	現状値以上 (78.1%)	未確定	未確定
＜目標5＞ 広域市町村連携	連携中枢都市圏の連携協約締結市町村数 【基準】平成27:—	8市町村以上	8市町村	S

## 2-3 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

基本目標	S	A	B	C	未確定
<目標1> しごとの創出と確保 (19項目)	3	7	5	2	2
	(17.6)	(41.2)	(29.4)	(11.8)	
<目標2> 移住・定住・交流の促進 (14項目)	0	5	3	4	2
	(0.0)	(41.7)	(25.0)	(33.3)	
<目標3> 少子化対策・子育て支援 (18項目)	4	6	6	2	0
	(22.2)	(33.3)	(33.3)	(11.1)	
<目標4> 住みやすい地域づくり (16項目)	1	8	4	2	1
	(6.7)	(53.3)	(26.7)	(13.3)	
<目標5> 広域市町村連携 (1項目)	0	0	0	0	1
	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	
合計(68項目)	8	26	18	10	6

※( )内は、目標内で実績値が把握できる指標に占める割合です。

## 2-4 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

KPI 目標別 評価項目ごとの割合 (未確定を除く)

評価	加算配分	目標1		目標2		目標3		目標4		目標5
		割合	数値	割合	数値	割合	数値	割合	数値	
S	1	17.6%	18			22.2%	22	6.7%	7	
A	1	41.2%	41	41.7%	42	33.3%	33	53.3%	53	
B	2	29.4%	59	25.0%	50	33.3%	67	26.7%	53	
C	3	11.8%	35	33.3%	100	11.1%	33	13.3%	40	
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>153</b>	<b>100.0%</b>	<b>192</b>	<b>100.0%</b>	<b>155</b>	<b>100.0%</b>	<b>153</b>	

進捗の順位

1

3

2

1

## 3 総括

### 社会増減について

- 本市では転出超過の状況が続いており、計画策定時点2014(H26)年の転出超過人数574人から、2017(H29)年には81人まで縮小したものの、2018(H30)年は平成26年と同レベルの604人となっている
- 2020年の移動均衡に向けて、「カムバックtoながの」を合言葉とした地域への愛着の醸成や職とのマッチングなど、従来からのUJIターンの促進に加え、若い世代を呼び込む取組の引き続き強化が必要  
(国レベルでの移動均衡の達成が困難な状況から、目標時期の見直しも必要)

### 自然増減について

- 出生数が死亡数を下回りっており、マイナス幅が年々拡大。計画策定時点2014(H26)年と比べても出生は減、死亡は増となっている
- 元気に暮らし続けられる健康寿命の更なる延伸に向け、フレイル(虚弱)予防などの取組をより一層進めることが重要
- 出生数の増に向けて、結婚・妊娠の希望をかなえる支援に加え、住みやすい地域としての魅力を高めるため、本市の充実した支援についての情報発信など、今後も息の長い取組が必要

# 4-1 地方創生推進交付金の活用状況

## 事業実績

事業名(担当課)	主な事業概要
<p><b>1 長野に活力。若者人材確保育成事業</b> (3年目) (商工労働課)</p> <p>事業費 54,969千円 (交付金額 27,484千円)</p>	<p>(1) 若者未来創造スペース整備事業 若者交流活動支援、若者起業・就業等活動支援、若者移住・定住促進</p> <p>(2) UJI就職を志向する大学生等への継続的フォローアップ 合同就職説明会(東京・1回)、企業採用力向上セミナー(長野・2回)等</p> <p>(3) ICT教育プログラム支援 市内小学生対象のプログラミング教室の開催(5回、51組参加)</p> <p>(4) 東京でふるさとながの大同窓会事業 「ナガノのシゴト博」の開催(東京・学生編、社会人編それぞれ1回)</p>
<p><b>2 ご縁で育む、ながの創造的まちづくり事業</b> (1年目) (観光振興課)</p> <p>事業費 60,269千円 (交付金額 30,000千円)</p>	<p>(1) 地域資源を活用した製品・コンテンツ開発事業 信州食材とジビエ料理によるメニュー開発(5品)、土産品の開発(4品)</p> <p>(2) 人材育成事業 地元小学生等を対象としたランタンの制作ワークショップ開催(4回、98名参加)</p> <p>(3) にぎわいの創出事業 デザインウイークと連携した善光寺表参道イルミネーションの開催</p>
<p><b>3 信州ナビによる周遊・滞在の促進</b> (交通政策課)</p> <p>事業費19,710千円 (交付金額9,854千円)</p>	<p>(1) 観光プロモーション型の周遊情報発信事業 『信州ナビ』を活用したバスロケーションシステムの導入等 (長野県・松本市との広域連携)</p>



## 4-2 地方創生推進交付金の活用状況

### 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

事業名	指標	目標値	実績値	評価
1 長野に活力。 若者人材確保 育成事業	総合戦略 <目標2> 移住・定住・交流の促進	R元	H30	<b>実績値確定後 公表予定</b>
	市内高校生の市内就職率 【基準】H26:64.8%	70.0%以上	未確定	
	交付金対象事業	H30	H30	
	20歳～24歳人口の社会増減数(人)	△134	△340	
	「若者未来創造スペース」施設利用者数(人)	1,000	2,079	
2 ご縁で育む、 ながの創造的 まちづくり事業	総合戦略 <目標2> 移住・定住・交流の促進	R元	H30	
	外国人宿泊者数 【基準】H26:51,723人泊/年	66,300人泊/ 年	未確定	
	「ながの観光コンベンションビューローホームページ」セッション数 【基準】H26:468,000回/年	702,000回/ 年	354,568回/ 年	
	交付金対象事業	H30	H30	
	開発した製品及びコンテンツの商品数(件)	1	9	
	ワークショップの参加者数(人)	30	98	
	外国人延宿泊者数(人泊)	80,400	未確定	
	観光入込客数(千人)	10,200	未確定	
3 信州ナビに よる周遊・滞在 の促進	総合戦略 <目標4> 住みやすい地域づくり	R元	H30	
	市民1人当たりの公共交通機関利用回数 【基準】H26:128.5回/年	131.0回/年	未確定	
	交付金対象事業	H30	H30	
	県内の延宿泊者数(万人)	2,015	1,798	
	県内の観光消費額(億円)	7,396	未確定	
	県内の公共交通機関利用者数(千人)	2,822	2,726	
	県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」累計ダウンロード回数(万回)	3.5	3.8	